

第2回

徳洲会 国際心臓血管セミナー in 葉山

Tokushukai International Cardiovascular Seminar in HAYAMA

Valvular Heart Disease and Cardiac Arrhythmia

プログラム
Program

2024年9月14日(土)~15日(日)



湘南国際村センター

神奈川県三浦郡葉山町上山口1560-39

ハイブリッド開催(現地開催◎オンラインライブ配信)



——生命だけは平等だ——
徳洲会グループ
TOKUSHUKAI MEDICAL GROUP

第2回 徳洲会国際心臓血管セミナー in 葉山の開催に寄せて



会長
浅井 徹

湘南鎌倉総合病院 病院長補佐
心臓血管外科統括部長

このたび、第2回徳洲会国際心臓血管セミナーin 葉山の会長を拝命し、2024年9月14日～15日に、神奈川県葉山の地に置きまして、本セミナーを開催させていただくこととなりました。本セミナーの企画、プログラム構成、運営をご準備いただいた方々に、心より感謝申し上げます。

昨年9月に開催した第1回徳洲会国際心臓血管セミナーin 葉山では、国内外の循環器内科・外科のエキスパートが、広く循環器疾患治療の実態を披露し、参加者と議論していただき、多くの現地出席者とオンライン参加者から反響をいただきました。とても実りある会となりましたことに、御礼申し上げます。

今回の第2回セミナーの開催にあたっては、日進月歩の循環器疾患診療のなかでも、とくに「心臓弁膜症と不整脈」にフォーカスを当てることといたしました。前回より実行委員会をさらに広げ、徳洲会グループの各領域リーダーに加わっていただき、入念にプログラムを構成いたしました。日本国内および海外から招待した各分野の第一人者と、徳洲会グループ病院の第一線で活躍する医師たちから、先進的医療への取り組みについて発表していただきます。葉山の地で開かれる本セミナーならではの活発な議論と、多くの発見や学びのあることを期待しています。

葉山は、日本初のハートセンター発祥の地であり、徳洲会グループ循環器診療のシンボルであります。より多くの皆さんにご参加いただき、このセミナーをとおして、お会いし親睦を図れることを心待ちにしております。



主催者
東上 震一

医療法人徳洲会 理事長
一般社団法人徳洲会 理事長

昨年、十数年ぶりに徳洲会国際心臓血管セミナーin 葉山を成功裏に開催することができました。参加していただいた先生方、また多くのスタッフの皆様、あらためて御礼を申し上げます。有難うございました。徳田虎雄・名誉理事長の肝いりの循環器、心臓外科専門病院である葉山ハートセンターは、現在、専門病院としてのさらなる機能アップのために、大規模 renewalを進めております。来年の本セミナーでは、新しい装いとなったハートセンターをご覧いただくショートツアーも企画したいと考えています。

さて、突然の悲報ではありますが、私たち徳洲会の創業者、徳洲会を象徴する存在でもあった徳田先生が7月10日に逝去されました。20年以上に及ぶALSとの長い闘病の末のことでした。ここに謹んで御冥福をお祈りいたします。

徳田先生は、“循環器・心臓外科は自分の直轄診療科”との強い意志で、葉山の地に瀟洒な佇まいの葉山ハートセンター（2000年5月開院）をつくられたことを思い出します。

心臓単科病院としての葉山ハートセンターの成功は、全国にハートセンターがつけられる端緒となり、加えて国際的なセミナーを開催して、学際的なメッセージも発信するということが、多くの先生方の刺激になったことも事実でした。内科、外科を問わず循環器領域の専門家が広く集い、国際的な交流をもつことは、非常に意義深いことです。本セミナーの成長が、循環器領域の発展に少しでも寄与できれば、徳洲会としても嬉しい限りです。

今年はロボット手術、SHD (Structural Heart Disease)、不整脈等を中心に議論されるプログラムになっております。忌憚ない意見の交換が、“葉山セミナー仲間”という親睦のなかで活発に交わされ、盛会となることを願っています。



実行委員長

大橋 壮樹

医療法人徳洲会 副理事長
名古屋徳洲会総合病院 総長

このたび、第2回徳洲会国際心臓血管セミナーin 葉山を開催いたします。昨年の第1回セミナーでは、多くの現地出席者、オンライン視聴者に参加いただきました。

今回は、弁膜症と不整脈に焦点を当て、国内外で活躍する先生方をお招きし、世界の最新情報を共有できればと考えております。また、初日の午前中は徳洲会セッションとして、全国の徳洲会グループ病院での循環器、心臓血管外科治療の現状を、第一線の先生に発表していただきます。また、徳洲会のみならず世界の循環器医療の先駆者である湘南鎌倉総合病院の齋藤滋先生を名誉会長として、スピーチをお願いしました。

今後、インドネシアにハラパンキタ・徳洲会循環器病センターを建設し、インドネシアの循環器医療に関し、徳洲会が協力することになりました。また、中国・山東大学齊魯医院德州医院との連携も始まります。それを記念して、インドネシア、中国からも先生方が参加されます。

各地域でお世話になっている医療関係者の皆様に、感謝の意を込めて、少しでも日々の循環器医療にお役立ていただけますよう、本セミナーをご視聴いただければと思います。

よろしくお願いいたします。



企画委員長

新田 隆

医療法人徳洲会 心臓血管外科顧問
羽生総合病院 循環器統括顧問

第2回目となる今年の徳洲会国際心臓血管セミナーin 葉山では、主題を弁膜症と不整脈に定め、それぞれの領域で、最新の研究成果や治療法を共有し、意見交換を図ることになりました。

最近の不整脈治療では、従来の自覚症状を軽減する対症療法や、不整脈による合併症を軽減しようとする治療から、不整脈そのものを直接治そうとする根本的な治療に向かって、大きなパラダイムシフトを遂げています。具体的にはカテーテル治療、デバイス植込み、さらには低侵襲外科治療などにより、不整脈の根治療法が可能になってきています。治療、診断の医療技術や、用いられる医療機器の進歩は、まさに日進月歩であり、循環器領域のなかでも、とくに目覚ましい進歩が見られる領域です。

プログラムの構成は、徳洲会不整脈部会長である名古屋徳洲会総合病院の加藤千雄院長を中心に、湘南鎌倉総合病院循環器科の村上正人主任部長らの協力で行われ、国内外の各領域の第一人者に、ご講演をお願いすることができました。最先端の治療技術をご紹介いただくだけでなく、日常の不整脈診療に、どのように役立たせるかを学ぶ絶好の機会となることを期待しています。

第2回

徳洲会国際心臓血管セミナー in 葉山 概要

会期 2024年9月14日(土)～9月15日(日)

会場 湘南国際村センター国際会議場
(神奈川県三浦郡葉山町上山口 1560-39)



開催形式

ハイブリッド開催（現地＆オンラインライブ配信）・同時通訳（日本語、英語）

開催組織

会 長	浅井 徹	湘南鎌倉総合病院 病院長補佐 心臓血管外科統括部長
主 催 者	東上 震一	医療法人徳洲会 理事長、一般社団法人徳洲会 理事長
名 誉 会 長	齋藤 滋	湘南鎌倉総合病院 心臓センター 循環器内科 心臓センター長
	三角 和雄	医療法人徳洲会 専務理事、千葉西総合病院 院長
実行委員長	大橋 壮樹	医療法人徳洲会 副理事長、名古屋徳洲会総合病院 総長
企画委員長	新田 隆	医療法人徳洲会 心臓血管外科顧問、羽生総合病院 循環器統括顧問

主 催

一般社団法人徳洲会

東京都千代田区九段南 1-3-1 東京堂千代田ビルディング 14F

お問い合わせ先

徳洲会国際心臓血管セミナー運営事務局（一般社団法人徳洲会 医療経営戦略室・若山）

TEL：03-3262-3133 FAX：03-5213-3602

徳洲会 国際心臓血管セミナー in 葉山
特設サイト



AM 10:00 ~ 徳洲会プレセッション 1

Pre Session 1

〔座長：Moderator〕 服部 滋 Shigeru Hattori 湘南藤沢徳洲会病院 心臓血管外科 主任医長

〔座長：Moderator〕 飯田 浩司 Hiroshi Iida 葉山ハートセンター 院長（心臓血管外科）

1. ストーンヘンジテクニックを用いた小切開大動脈弁置換術 ~インドネシアへの道~

Stonehenge Technique for MICS AVR ~the road to Indonesia~



嶋田 直洋 Naohiro Shimada

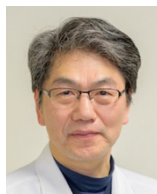
東京西徳洲会病院 心臓血管外科 主任部長

札幌医科大学（2006年卒）

心臓血管外科専門医・修練指導者、低侵襲心臓手術認定医

2. Frozen elephant trunk 法について 28年間の経験

My experience of frozen elephant trunk technique for 28 years



内田 直里 Naomichi Uchida

宇治徳洲会病院 副院長（心臓血管外科）

広島大学（1988年卒）

日本胸部外科学会指導医、心臓血管外科専門医・修練指導者

3. 離島のハンデを克服する循環器医療

Cardiovascular medical care that overcomes the handicap of remote island



田代 篤史 Atsushi Tashiro

徳之島徳洲会病院 副院長（循環器内科）

札幌医科大学（2008年卒）

循環器専門医、日本心血管インターベンション治療学会専門医

4. 成田富里徳洲会病院における循環器部門の取り組み

Cardiology Department Initiatives at Narita-Tomisato Tokushukai Hospital



岡元 崇 Takashi Okamoto

成田富里徳洲会病院 心臓血管外科 医長

鹿児島大学（1997年卒）

心臓血管外科専門医・修練指導者

5. 心房細動患者におけるクライオバルーンを用いた肺静脈および左房後壁隔離術の有効性と安全性：単施設ケーススタディからの知見

Feasibility and safety of adjunctive pulmonary vein and left atrial posterior wall isolation using cryoballoon in patients with atrial fibrillation: Insights from single center case series



江里 正弘 Masahiro Esato

大垣徳洲会病院 循環器内科不整脈部門 部長
東京慈恵会医科大学 (1992 年卒)
循環器専門医、不整脈専門医

6. 当院における急性心筋梗塞後の心室中隔穿孔術の戦略

Strategy of ventricular septal perforation after acute myocardial infarction at our hospital.



大城 規和 Norikazu Oshiro

松原徳洲会病院 心臓血管外科 医長
新潟大学 (2010 年卒)
心臓血管外科専門医、脈管専門医

AM 11:00 ~ 11:10 休憩

AM 11:10 ~ 徳洲会プレセッション 2

Pre Session 2

〔座長：Moderator〕 畔柳 智司 Satoshi Kuroyanagi 岸和田徳洲会病院 院長 (心臓血管外科)

〔座長：Moderator〕 岡元 崇 Takashi Okamoto 成田富里徳洲会病院 心臓血管外科 医長

7. 当科の現状と将来展望

Current status and Future prospect of our department



薦岡 成年 Masatoshi Komooka

八尾徳洲会総合病院 心臓血管外科部長 心臓血管センター長
防衛医科大学 (2003 年卒)
心臓血管外科専門医・修練指導者、循環器専門医

8. 内視鏡下 Pedicle SVG 採取 ~ 5 年間の経験 ~

Endoscopic pedicled 'No-Touch' saphenous vein graft harvesting ~5year experience~



片山 雄二 Yuji Katayama

福岡徳洲会病院 副院長 (心臓血管外科)
佐賀医科大学 (1991 年卒)
心臓血管外科専門医・修練指導者

9. 大きいほど良い？ SAVR の湘南藤沢プロトコール

The Bigger, the Better? Shonan Fujisawa Protocol of SAVR



服部 滋 Shigeru Hattori

湘南藤沢徳洲会病院 心臓血管外科 主任医長
福井大学（2011 年卒）
心臓血管外科専門医

10. 左心室機能障害におけるオフポンプ冠動脈バイパス術の長期成績

Long-term results following off-pump coronary-artery bypass grafting in left ventricular dysfunction



池田 昌弘 Masahiro Ikeda

仙台徳洲会病院 心臓血管外科 部長
香川医科大学（2002 年卒）
心臓血管外科専門医

11. 高周波ホットバルーンを用いた心房細動アブレーション

AF/AT ablation with radiofrequency HOT Balloon



上野 秀樹 Hideki Ueno

葉山ハートセンター 名誉院長（循環器内科）
九州大学（1990 年卒）
日本心血管画像動態会評議員

12. 内視鏡を用いた MICS による僧帽弁と三尖弁の同時手術、Maze 手術、および左心耳切除術

Endoscopic MICS for concomitant mitral and tricuspid valve surgery, Maze procedure and resection of a left atrial appendage



上田 高士 Takashi Ueda

札幌東徳洲会病院 副院長（心臓血管外科）
奈良県立医科大学（1993 年卒）
心臓血管外科専門医・修練指導者

PM 1:00 ~ 開催ご挨拶

Opening Remarks: Greetings from Organizer

東上 震一 *Shinichi Higashiue*

医療法人徳洲会 理事長 Chairman, Medical Corporation Tokushukai

PM 1:15 ~ セッション1 僧帽弁疾患

Session 1 Mitral Valve Valvular Disease

〔座長：Moderator〕 **上田 高士** *Takashi Ueda* 札幌東徳洲会病院 心臓血管外科 部長

〔座長：Moderator〕 **桃原 哲也** *Tetsuya Tobaru* 千葉西総合病院 循環器内科 主任診療部長

〔コメンテーター：Commentator〕 **松本 崇** *Takashi Matsumoto* 湘南鎌倉総合病院 循環器科 部長

〔コメンテーター：Commentator〕 **Danny Ramzy** UTHealth Houston, USA

〔コメンテーター：Commentator〕 **Bagus Herlambang** National Cardiovascular Center Harapan Kita, Indonesia

1. 構造的心疾患の術中経食道心エコー図

Intraoperative Transesophageal Echocardiography for Structural Heart Disease



泉 佑樹 *Yuki Izumi*

榊原記念病院 循環器内科 医長
日本医科大学（2008年卒）
循環器専門医、超音波専門医

2. 内視鏡下弁膜症手術

Endoscopic Valve Surgery



細羽 創宇 *Soh Hosoba*

名古屋徳洲会総合病院 心臓血管外科 部長
滋賀医科大学（2007年卒）
心臓血管外科専門医・修練指導者、日本低侵襲心臓手術学会認定指導医

3. 経カテーテル縫合修復の適応範囲の拡大と現在の課題

Growing indication and current issue of transcatheter edge to edge repair



水野 真吾 *Shingo Mizuno*

湘南鎌倉総合病院 循環器科 部長
昭和大学（2002年卒）
循環器専門医、日本心血管インターベンション治療学会専門医

4. Techniques of Mitral Valve Repair and Replacement Using Robotic Platform



Serguei Melnitchouk

Massachusetts General Hospital, USA

Co-Director of the Heart Valve Program and Assistant Professor of Surgery at Harvard Medical School.

Expert of coronary bypass and valve surgeries, minimally invasive mitral valve repair and TAVR.

5. Rheumatic Mitral Valve Surgery: Indonesian experience.



Bagus Herlambang

National Cardiovascular Center Harapan Kita, Indonesia

Adult Cardiac Surgeon Consultant

Expert of coronary, valve, aorta, and adult congenital heart diseases

6. 低侵襲僧帽弁置換術

Minimally invasive mitral valve replacement: Japanese experience



中村 喜次 *Yoshitsugu Nakamura*

千葉西総合病院 副院長 心臓血管外科 主任部長

愛媛大学 (1996 年卒)

心臓血管外科専門医・修練指導者、低侵襲心臓手術指導医・代議員

PM 3 : 20 ~ 3 : 30 休憩

PM 3 : 30 ~ 会長講演

Chairman's Lecture

〔座長：Moderator〕 **大橋 壯樹** *Takeki Ohashi* 名古屋徳洲会総合病院 総長

最高水準、低侵襲の弁膜症治療を目指して

Striving for the Highest Standards and Minimally Invasive Treatment of Valvular Heart Disease



浅井 徹 *Tohru Asai*

湘南鎌倉総合病院 病院長補佐 心臓血管外科統括部長

金沢大学 (1986 年卒)

心臓血管外科専門医・修練指導者、循環器専門医

順天堂大学医学部客員教授、滋賀医科大学名誉教授

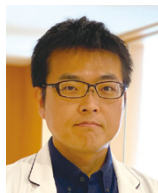
PM 3:50 ~ セッション 2-1: 大動脈弁疾患

Session 2 Aortic Valve Valvular Disease

- 〔座長: Moderator〕 **中村 喜次** *Yoshitsugu Nakamura* 千葉西総合病院 副院長 心臓血管外科 主任部長
〔座長: Moderator〕 **松尾 浩志** *Koshi Matsuo* 八尾徳洲会総合病院 心臓血管センター 副センター長
〔コメンテーター: Commentator〕 **薦岡 成年** *Masatoshi Komooka* 八尾徳洲会総合病院 心臓血管センター長
〔コメンテーター: Commentator〕 **Serguei Melnitchouk** Massachusetts General Hospital, USA
〔コメンテーター: Commentator〕 **Tianxiang Gu** The First Hospital of China Medical University, China

1. 二尖大動脈弁狭窄症の患者に対する経カテーテル的大動脈弁置換術

Transcatheter Aortic Valve Implantation in Patients with Bicuspid Aortic Valve Stenosis



山中 太 *Futoshi Yamanaka*
湘南鎌倉総合病院 循環器科 部長
長崎大学卒 (2002 年)
循環器専門医、日本心血管インターベンション治療学会専門医

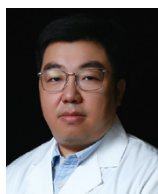
2. TAVI および TEER の進歩

Progress in TAVI and TEER



桃原 哲也 *Tetsuya Tobaru*
千葉西総合病院 循環器内科 主任診療部長 SHD センター長
久留米大学 (1989 年卒)
循環器専門医・指導医、日本心血管インターベンション治療学会専門医・指導医

3. Surgical Treatment of a Quadricuspid Aortic Valve with Aortic Regurgitation



Yang Yu
Lecturer at Department of Cardiac Surgery, The First Hospital of China Medical University, China
His clinical work primarily focuses on the treatment of aortic diseases and related research.

PM 5:00 ~ セッション 2-2: 大動脈弁疾患

Session 2 Aortic Valve Valvular Disease

- 〔座長: Moderator〕 **内田 直里** *Naomichi Uchida* 宇治徳洲会病院 副院長 (心臓血管外科)
〔座長: Moderator〕 **山中 太** *Futoshi Yamanaka* 湘南鎌倉総合病院 循環器科 部長
〔コメンテーター: Commentator〕 **細羽 創宇** *Soh Hosoba* 名古屋徳洲会総合病院 心臓血管外科 部長
〔コメンテーター: Commentator〕 **Vinay Badhwar** West Virginia University, USA
〔コメンテーター: Commentator〕 **Serguei Melnitchouk** Massachusetts General Hospital, USA

4. Cusps repair in valve-sparing aortic root replacement



Tianxiang Gu

Chief Professor, Department of Cardiac Surgery, The First Hospital of China Medical University, China
He successfully completed the largest series of surgical repairs for aortic valve insufficiency in the country, with the number of cases approaching 600.

5. 大動脈弁形成術の最先端

Cutting edge of aortic valve repair



國原 孝 Takashi Kuniyoshi

東京慈恵会医科大学 心臓外科 主任教授
北海道大学（1991 年卒）
心臓血管外科専門医・修練指導者、ドイツ心臓外科専門医

6. TAVI 弁の取り出しの経験と MICS AVR を含めた大動脈弁疾患の lifetime マネージメント

Experience with TAVI Valve Implantation and Lifetime Management of Aortic Valve Disease Including MICS AVR



畔柳 智司 Satoshi Kuroyanagi

岸和田徳洲会病院 院長（心臓血管外科）
滋賀医科大学（2002 年卒）
心臓血管外科専門医・修練指導医、脈管専門医

7. Robotic AVR - Anterior and Lateral Approach



Danny Ramzy

UTHealth Houston, USA
Chief of Cardiothoracic Surgery
Expert of minimally invasive and robotic heart surgeries, particularly in heart failure treatments and transplantation

PM 6 : 30 ~ 8 : 00 懇親会

Reception Party

AM 8:00 ~ セッション3:心房細動

Session 3 Atrial fibrillation

〔座長: Moderator〕 新田 隆 Takashi Nitta 羽生総合病院 循環器統括顧問 (心臓血管外科)

〔座長: Moderator〕 鵜野 起久也 Kikuya Uno 東京心臓不整脈病院 理事長・院長

1. 発作性心房細動に対するカテーテルアブレーションの進化

Evolution of Catheter Ablation for Paroxysmal Atrial Fibrillation



村上 正人 Masato Murakami

湘南鎌倉総合病院 循環器科 主任部長
岡山大学 (1997 年卒)
循環器専門医、不整脈専門医

2. 持続性心房細動における肺静脈隔離を超えて

Beyond pulmonary vein isolation in persistent atrial fibrillation

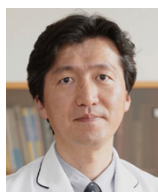


加藤 千雄 Kazuo Kato

名古屋徳洲会総合病院 院長 (循環器内科)
藤田学園保健衛生大学 (1985 年卒)
循環器専門医、不整脈専門医

3. 低侵襲心臓手術における併用心房細動アブレーション

Concomitant atrial fibrillation ablation in minimally invasive cardiac surgery



坂口 太一 Taichi Sakaguchi

兵庫医科大学 心臓血管外科 主任教授
大阪大学 (1992 年卒)
心臓血管外科専門医・修練指導者、日本低侵襲心臓手術学会指導医・代表理事

4. Can Adoption of Technology Improve Outcomes? The Robotic Bi-atrial Cox Maze



Vinay Badhwar

Gordon F. Murray Professor and Chair
Department of Cardiovascular and Thoracic Surgery
West Virginia University, USA

5. 経皮的左心耳閉鎖術の意義とその実際

Significance and the Real Practice of Percutaneous Left Atrial Appendage Closure



原 英彦 *Hidehiko Hara*

東邦大学医療センター大橋病院 循環器内科 教授
旭川医科大学 (1992 年卒)
循環器専門医、日本心血管インターベンション治療学会専門医

6. 胸腔鏡下心房細動手術の導入期成績と今後の課題

Outcome of the induction phase and Prospective Hurdles in Total thoracoscopic Atrial fibrillation surgery



中山 泰介 *Taisuke Nakayama*

千葉西総合病院 心臓血管外科 医長
愛媛大学 (2007 年卒)
心臓血管外科専門医・修練指導者、循環器専門医

AM 10:30 ~ セッション 4: 難治性心室性不整脈の治療

Session 4 Treatment of refractory ventricular arrhythmias

〔座長: Moderator〕加藤 千雄 *Kazuo Kato* 名古屋徳洲会総合病院 院長 (循環器内科)

〔座長: Moderator〕村上 正人 *Masato Murakami* 湘南鎌倉総合病院 循環器科 主任部長

1. 心室頻拍のカテーテルアブレーション

Catheter Ablation of Ventricular Tachycardia



副島 京子 *Kyoko Soejima*

杏林大学医学部循環器内科学 主任教授
慶應義塾大学 (1989 年卒)
循環器専門医、不整脈専門医

2. 構造的な疾患のない心室頻拍および心室細動 (特発性 / プルキンエ繊維関連)

VT and VF without structure heart disease (idiopathic/Purkinje-related)



野上 昭彦 *Akihiko Nogami*

東京心臓不整脈病院 総長 難治性不整脈治療研究センター長
長崎大学 (1982 年卒)
循環器専門医、不整脈専門医

3. Circadian Variability and the Outcomes of Catheter Ablation of Outflow Tract Premature Ventricular Complexes



Sunu Budhi Raharjo

National Cardiovascular Center Harapan Kita, Indonesia / University of Indonesia
Chief, Division of Arrhythmia, Department of Cardiology & Vascular Medicine
Expert of stroke prevention in atrial fibrillation, electrophysiology and arrhythmia

4. 難治性心室頻拍の外科治療

Surgery for Refractory Ventricular Tachycardia



新田 隆 Takashi Nitta

羽生総合病院 循環器統括顧問 (心臓血管外科)

日本医科大学 (1981 年卒)

心臓血管外科専門医・修練指導者、循環器専門医、不整脈専門医

PM 12 : 10 ~ 12 : 20 休憩

PM 12 : 20 ~ スペシャルセッション

Special Legendary Session



〔座長：Moderator〕

三角 和雄 Kazuo Misumi

医療法人徳洲会 専務理事

千葉西総合病院 院長 心臓病センター長

東京医科歯科大学 (1982 年卒)

循環器専門医、FACP、FACC、FCCP

1. HBD と、その新規デバイス発展における役割

HBD and Development of New DES and Scaffolds



齋藤 滋 Shigeru Saito

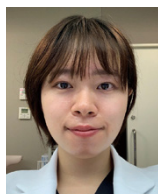
湘南鎌倉総合病院 心臓センター 循環器内科 心臓センター長

大阪大学 (1975 年卒)

循環器専門医、FACC、FSCAI

2. Imaging Device の最前線 ~血管内視鏡でわかることと臨床応用~

Cutting-Edge Imaging Device ~What can be detected by angioscopy and its clinical application~



金子 彩 Aya Kaneko

千葉西総合病院 循環器内科

愛媛大学 (2021 年卒)

PM 1 : 00 ~ 閉会ご挨拶

Closing Remarks

大橋 壯樹 Takeki Ohashi

医療法人徳洲会 副理事長 Vice Chairman, Medical Corporation Tokushukai

● 徳洲会グループ病院 一覧（循環器内科・心臓血管外科）

No.	医療機関名	住所	病床数	施設認定				2023 年度 実績					治療概要							
				循環器 専門施設	専門医	心臓血管外科 認定修練施設	専門医	心カテ 件数	PCI 件数	ABL 件数	心臓血管 手術件数	開胸 手術数	MICS	ロボット	補助 人工心臓	TEVAR/ EVAR	ABL	TAVI	Mitra Clip	イン ペラ
1	札幌東徳洲会病院	北海道	336	研修施設	8	基幹施設	4	2,154	610	278	444	148	○			○	○	○	○	○
2	札幌徳洲会病院	北海道	301	関連施設	4	協力施設	1	1,512	637	85	42	26					○			
3	庄内余目病院	山形県	324	研修施設	2	関連施設	3	418	199	27	163	16				○	○			
4	仙台徳洲会病院	宮城県	347	研修施設	4	関連施設	2	254	86	33	61	39					○			
5	羽生総合病院	埼玉県	391	研修施設	3	関連施設	3	211	117	22	81	17				○	○			
6	千葉西総合病院	千葉県	680	研修施設	14	基幹施設	6	7,410	3,209	481	1,046	665	○	○		○	○	○	○	(申)
7	千葉徳洲会病院	千葉県	447	研修施設	3			615	304	38	7						○			
8	成田富里徳洲会病院	千葉県	407	関連施設	2	関連施設	3	432	166	37	72	68				○	○			
9	鎌ヶ谷総合病院	千葉県	331		3	関連施設	3	78	15		216	1			○	○				
10	東京西徳洲会病院	東京都	568	研修施設	3	基幹施設	3	1,513	421	94	215	141	○				○			
11	武蔵野徳洲会病院	東京都	303	研修施設	2			245	90		48	0								
12	湘南鎌倉総合病院	神奈川県	669	研修施設	18	基幹施設	4	4,081	937	818	382	327	○			○	○	○	○	○
13	湘南藤沢徳洲会病院	神奈川県	419	研修施設	2		1	719	242		132	64	○			○				
14	湘南大磯病院	神奈川県	312	研修施設	3			216	79		1									
15	湘南厚木病院	神奈川県	253		1	関連施設	2	255	67	22	152	55	○			○	○			
16	大和徳洲会病院	神奈川県	248	関連施設				239	66	67	12						○			
17	葉山ハートセンター	神奈川県	89	関連施設	2		2	420	61	152	88	67	○				○			
18	静岡徳洲会病院	静岡県	419	関連施設	1			71	16											
19	榛原総合病院	静岡県	397	研修施設	2	協力施設	1	348	160	51	142	27				○	○			
20	名古屋徳洲会総合病院	愛知県	350	研修施設	5	基幹施設	3	1,290	399	327	840	272	○	○	○	○	○	○	○	○
21	大垣徳洲会病院	岐阜県	283	研修施設	2		1	365	171	59	16	5					○			
22	宇治徳洲会病院	京都府	479	研修施設	6	基幹施設	5	1,629	726	210	436	173	○			○	○	○	○	○
23	生駒市立病院	奈良県	210		1			136	94	7							○			
24	岸和田徳洲会病院	大阪府	400	研修施設	6	基幹施設	5	1,037	383	69	718	499	○			○	○	○	○	○
25	八尾徳洲会総合病院	大阪府	427	研修施設	4	基幹施設	3	1,349	766		357	112	○			○				○
26	吹田徳洲会病院	大阪府	365	研修施設	7	関連施設	4	215	67	44	142	28				○	○			
27	和泉市立総合医療センター	大阪府	307	研修施設	7	協力施設		382	120	41	25						○			
28	松原徳洲会病院	大阪府	249	関連施設	1	基幹施設	2	363	217		365	167	○			○				
29	野崎徳洲会病院	大阪府	218	関連施設	1	関連施設	1	734	609	18	24	17	○			○	○			
30	出雲徳洲会病院	島根県	183		3	協力施設	1				20									
31	福岡徳洲会病院	福岡県	602	研修施設	14	基幹施設	3	2,019	616	58	261	125				○	○	○	○	○
32	大隅鹿屋病院	鹿児島県	391	研修施設	4	基幹施設	3	1,491	451		207	94				○				○
33	鹿児島徳洲会病院	鹿児島県	310	関連施設	1			261	79											
34	名瀬徳洲会病院	鹿児島県	289		1			59	27											
35	徳之島徳洲会病院	鹿児島県	199	関連施設	1			141	70											
36	中部徳洲会病院	沖縄県	408	研修施設	5	基幹施設	3	1,114	463	194	199	92	○		○	○	○	○		(申)
37	南部徳洲会病院	沖縄県	357		1	関連施設	3	381	104		185	33	○			○				
38	石垣島徳洲会病院	沖縄県	62			協力施設	1	8			25									
計								34,165	12,844	3,232	7,124	3,278	15	2	3	21	24	8	7	8

※ MICS：低侵襲心臓手術
 ※ ABL：カテーテルアブレーション
 (申)：申請中

「ハラパンキタ・徳洲会循環器病センター」始動

— 東上・医療法人徳洲会理事長が現地で契約書へ調印 —

医療法人徳洲会（医徳）の東上震一理事長（一般社団法人徳洲会理事長）ら徳洲会一行は6月23日から5日間、インドネシア共和国を訪問し、首都ジャカルタにある国立ハラパンキタ循環器病センター（日本の国立循環器病研究センターに相当）との新病院建設にかかわる財務保証契約書に調印した。これは徳洲会が新病院を寄贈する共同プロジェクトで、新病院は同センター敷地内に「Harapan Kita-Tokushukai Cardiovascular Center（ハラパンキタ・徳洲会循環器病センター）」として建設。延床面積61,478m²、地上22階・地下3階、700床超の計画で、9月に起工式を行い、2026年度中の開院を目指す。

今回、訪問したのは東上理事長、大橋壯樹・医徳副理事長、札幌東徳洲会病院の山崎誠治院長、岸和田徳洲会病院（大阪府）の横井良明副院長（当時）、湘南鎌倉総合病院（神奈川県）の齋藤滋・心臓センター長、東京西徳洲会病院の嶋田直洋・心臓血管センター主任部長、一般社団法人徳洲会の植嶋敏郎・事務局長、吉田博章・経理部長代理、高木宏光・国際部職員。

24日にインドネシアに到着後、一行は副大統領府を訪問。マアルフ・アミン副大統領にブディ・グナディ・サディキン保健相がプロジェクトの進捗状況を報告した。アミン副大統領は今回の寄贈に対する謝意を表し、「新病院の建設や徳洲会との技術交流により、これまでマレーシアやシンガポールに流出していた患者さんの診療を、今後は自国で行えるようになることでしょう」と期待を寄せた。

これに対し東上理事長は、「徳洲会の医療従事者も、新病院で多くの経験を積めるようになります。臨床・研究・教育に関する交流を促進させ、新病院をアジアでナンバーワンの循環器病センターに成長させたいと考えます」と意気込みを見せた。

続いて、在インドネシア日本大使館を訪問。東上理事長は正木靖・特命全権大使に、アミン副大統領との会談について報告したうえで、「徳洲会はハラパンキタ循環器病センターと20年以上の交流があります。新病院の建設により、インドネシアの循環器分野へのさらなる対応力向上を図る



新病院の完成予定図

狙いがあります」とアピール。さらに、NPO法人TMAT（徳洲会医療救援隊）を通じ、災害医療支援活動に取り組んできたことなども説明した。

正木大使は「インドネシア政府は現在、全国の病院の医療水準を引き上げようとしています。今回のプロジェクトは、インドネシア政府の動きに合致するものであり、大変ありがたい状況だと感じます」と評価。

夕方には、ハラパンキタ循環器病センターのイワン・ダゴタ院長や設計事務所の担当者らと、新病院の設計について意見交換。徳洲会側は手術室の増室や動線を考慮したフロアレイアウトなどに関し改善案を提示した。



アミン副大統領（右）と握手をする
東上理事長



新病院の設計について意見交換



契約書に調印する東上理事長（左）
とイワン院長



記念品の徳洲会オリジナル盾を手にする
アズハル総局長（中央）とイワン院長



調印式後にハラパンキタ循環器病センター前で集合写真

世界を牽引する病院へ

25日にハラパンキタ循環器病センターで、新病院のための財務保証契約書の調印式を実施。その席でアズハル・ジャヤ保健省保健サービス総局長は、新病院の寄贈について同省を代表して謝意を示したうえで、「徳洲会の医療従事者が新病院で活動することにより、ハラパンキタ循環器病センター、ひいてはインドネシアの医療レベルの向上が見込まれます。また、循環器分野のみならず、今後は他の分野でも徳洲会と協力を進め、長くこの関係が続くことを願っています」と期待感をあらわにした。

イワン院長は「徳洲会からの支援は20年以上の歴史があります。新病院では、両国の医療従事者が交流を深め、互いの技術を高め合うと同時に、徳洲会の参画をもとにキャパシティのみならずクオリティの向上にも努めます。そのうえで、アジアでもトップクラスの病院を目指し、両国の発展につなげたいと思います」と力を込めた。

東上理事長は「イワン院長や循環器内科の方々との交流を通じ、病院としての成長も後押ししたい」と強調。さらに、徳洲会の国境を越えて世界に医療を届けるという理念を示し、「アジアから発信して、循環器分野で世界を牽引す

る病院を築きたい」と今回のプロジェクトに対する意気込みを示した。

最終日の26日は、インドネシアの建築物の見学、今後さらに需要が見込まれる介護人材養成学校を視察した後、帰国した。

横井副院長は「20年にわたるハラパンキタ循環器病センターとの交流が、今回の支援に結び付きました。成長著しいアジアで、日本の存在感を示すためには、病院建設だけでなく、人材交流も大切です。このような発想は、徳洲会ならではの考えです」と思いをはせる。

齋藤センター長は「インドネシアは発展途上にあり、われわれも、その渦に巻き込まれることで、さらなる発展を見込めると感じています。今後は、今日感じ取った進歩や今後の方向性をさらに広げていきたいと思います」と抱負を語る。

大橋・副理事長は「われわれの支援に対し、国を挙げて喜んでいただきました。これまで長きにわたる交流がベースにあったからこそ、スムーズに信頼関係を築けたと思います。徳洲会が連携することで、経営面のみならず、インドネシア全体の循環器医療のますますの発展に寄与していきたい」と胸を張る。

徳洲会グループが新たな国際医療協力

中国・徳州医院と人材交流でMOU

— 循環器やがん医療など一層の質向上へ —

医療法人徳洲会（医徳）の東上震一理事長（一般社団法人徳洲会理事長）ら徳洲会一行は5月25日から3日間、中国・山東省を訪問し、山東大学齊魯医院（病院に相当）徳州医院（2,000床）の責任者である王曉東党書記と人材交流などに関して、協力意向合意書（MOU）を締結した。徳洲会グループと同医院の医師らの交流を促進、両者間の臨床・研究・教育の場の充実につなげていく計画だ。

今回、訪問した徳洲会一行は東上理事長、大橋壯樹・医徳副理事長（名古屋徳洲会総合病院総長）、一般社団法人徳洲会（社徳）の植嶋敏郎・事務局長、若山俊彦・医療経営戦略室課長補佐、朱麗佳・国際部副主任の5人。

26日に同医院で心電図解析センター、画像診断センターなどを見学、王党書記や王東海院長らから同医院の役割や現状についてプレゼンを受けた。

このなかで、同医院は70年余りの歴史があり、年間の外来患者数約152万人、入院患者数約9.4万人、総手術件数は約3.4万件で、徳州市唯一の総合病院であること、血管外科や心臓外科に力を入れていること、AI（人工知能）技術を診療に活用していること、教育活動や研究も行っていることなどを提示。また同医院の医師らと心臓外科の症例検討も行った。

その後、場所を移し、徳州市衛生健康委員会（医療機関の整備などを行う行政機関）の常樹風主任と面会、同市の医療事情などについて情報交換した。



敷地面積約20万㎡の新病院完成予想図

午後は同医院から車で10分ほど離れた場所にある建設中の新病院（2,000床）を訪問、CT（コンピュータ断層撮影）室、ハイブリッド手術室（設置型透視装置を備えている開心術が可能な手術室）、ICU（集中治療室）、健診セン



MOUを締結し固い握手を交わす東上理事長（左）と王党書記



徳州医院の医師らと症例検討を実施



新病院の前で歓迎の横断幕を手に記念撮影



新病院で最新型のCT(左)やハイブリッド手術室(右)を見学



ターなどを視察した。

続けて徳洲会と同医院の連携に関し、座談会を実施。王党書記から新病院は急性期医療を中心に提供する予定で、敷地面積は約20万 m^2 、医療施設に加えて研究施設、医療技術をトレーニングする施設を建設中であることなど説明があった。また、徳洲会とは心臓外科に加えて、がん治療、脳外科、リハビリテーション、健診(検診)などの分野でも連携していきたい意向を示した。

この後、東上理事長と王党書記は医師らの人材交流、教育や研究、学術セミナーなどでの双方の協力支援について、MOUを締結。同医院に「日本徳洲会グループ協力病院」の看板を掲げることなども確認した。大橋・副理事長は「循環器領域から交流を開始し、将来的には、がん医療など幅広い分野で交流を発展させていきます」と意欲をのぞかせていた。東上理事長は「Tokushukai International Medical Check-up Center (TIMC) OSAKAや東京・豊洲に2025年9月オープン予定の国際健診センターでのメディカルツーリズム(医療観光)の中国の窓口に、徳州医院になっていただくことを期待しています」と抱負を語った。

症例豊富な中国での研修も視野

具体的な人材交流の内容は、徳洲会から手術支援ロボット「ダヴィンチ」の操作法や心臓外科、がん治療などに関するノウハウや技術を提供したり、徳洲会病院の若手医師らが症例豊富な中国で研修を受けたりすることを想定している。直近の交流としては、同医院の新病院で7月12、13日に開催された「第5回 日本-中国血管フォーラム」に徳洲会病院から医師5人が現地参加し、発表した。また7月以降に、同医院から医師が来日、徳洲会病院で研修。

徳洲会と同医院の交流は2018年、同医院の王海慶医師(当時は済寧市第一人民医院医師)が名古屋病院の心臓血管外科で研修を受けたことに始まる。その後、大橋・副理事長らが中国を訪れたり、合同で同フォーラムをオンラインで開催したりしてきた。また、王党書記や王医師ら計5人が今年3月に来日し、名古屋病院、宇治徳洲会病院(京都府)、湘南鎌倉総合病院(神奈川県)を視察するなど交流を深めていた。こうした積み重ねが、今回のMOU締結につながった。



湘南国際村センター

発行

一般社団法人徳洲会

〒102-0074 東京都千代田区九段南 1-3-1 東京堂千代田ビル 14 階

TEL：03-3262-3133

制作

一般社団法人徳洲会 広報部

